

【プログラム名】

◎素直に言えるようになりたい大事な言葉

家庭教育支援ガイドブック

「素直に言えるようになりたい大事な言葉『ありがとう』『ごめんなさい』」

1 プログラムの準備等

○実施時期：いつでも

○実施時間：約50分間（説明5分、プログラム45分）

○対象：児童期（小学校中学年～高学年）の子どもの保護者

○準備物、配布物

【配布物】※ファシリテーターの指示で配布

- ・家庭教育支援ガイドブック
「素直に言えるようになりたい大事な言葉『ありがとう』『ごめんなさい』」
- ・A4用紙（1人2枚+予備）
- ・A3用紙（グループ数+予備）

【備品】

- ・ホワイトボード、マーカー
- ・ペン
- ・クリップボード（会場にテーブルがなかった場合、人数分）

○その他（座席など）

- ・1グループ4人になるよう着席してもらう



2 展開 (15:00～15:50 に実施の場合)

| 時間 | プログラムの内容 | ポイント 等 |
|-----------------|---|---|
| 15:00～ (5分) | ○開会 ・ファシリテーターあいさつ、自己紹介 ・今日の講座の趣旨と流れの説明 ・グラドルール [守秘、参加、尊重、時間厳守] の確認、写真撮影の了解など | ・ファシリテーター2名 (進行役と板書/配布係) ※A4用紙とペンは、机上に配布しておく。 ・あらかじめ4人グループになるよう指示を出す。 ※4人で組めないグループは、3人になるようにする。 |
| 15:04～ (1分) | ○グループワークについて説明 ・グループワーク後に2～3組の方から発表してもらうことを伝える。 | |
| 15:05～ (5分) | ○アイスブレイク 【説明】 ・自己紹介 ・今朝、子どもに「ありがとう」と言ったことや思ったことはどんなことか、ペアで話し合う。 | ・場づくり/参加者の状況等を把握する。 ・3人のグループは、3人で行う。 |
| 15:10～ (8分) | ○グループワーク I 【説明】 「あなたのお子さんは、『ありがとう』や『ごめんなさい』を素直に(自然に)言えていますか。また、素直に(自然に)言えないときはどんなときですか。」 ・個人でワークシート(A4用紙)に書く。 2分 ・ワークシートに書いたことをペアで発表する。 6分 | |
| 15:18～ (5分) | 【全体共有】 ・2～3組を指名し、どのような話題が出たか発表してもらう。 | ・ |
| 15:23～ (15分) | ○グループワーク II ・4人1グループになるよう声をかける。 ※4人で組めないグループは3人 | ・グループの組み方は、サブファシリテーターが指示する。 |

| | | |
|----------------|--|--|
| | <p>【説明】</p> <p>「子どもが『ありがとう』や『ごめんなさい』を素直に言えないとき、どんな声かけをすれば習慣化できるのかをグループ内でお話してください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で意見交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・グループに1枚ずつA3用紙を配布する。 ・グループ内で出た意見を、A3用紙にメモしてもらう。 |
| 15:38～ (7分) | <ul style="list-style-type: none"> ○全体共有 ・2～3組を指名し、どのような話題が出たか発表してもらう。 | |
| 15:45～ (3分) | <ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえり、個人ワーク ・今日学んだことから、行動に移したいと思ったことをワークシート（A4用紙）に書く。 3分 | |
| 15:48～ (2分) | <ul style="list-style-type: none"> ○まとめ、あいさつ ・ガイドブックの活用について説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブック「素直に言えるようになりたい大事な言葉」を配布。 |
| 15:50～ | <ul style="list-style-type: none"> ○閉会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ |

言うにはちょっと勇気がいるけれど、言われると心が温かくなったり、緊張がホッと緩んだりする思いやりの言葉があります。

素直に言えるようになりたい大事な言葉 「ありがとう」「ごめんなさい」



日頃から耳にしない言葉は、うまく使えるようにはなりません

- ★「ありがとう」を言う場面はたくさんあります
親がお手本を見せましょう
- ★家族や夫婦で、ささいなことでも日頃から「ありがとう」と言う習慣をつけましょう

家庭で、日常的に耳にすることで、 どんなときにどんなふうに使うのが覚えます

- ★「ごめんなさい」も大人のお手本が大切です
- ★謝罪を受け入れる姿も見せましょう



心を込めて言えると相手の心に伝わります